

令和 2 事業年度

決 算 報 告 書

自：令和 2 年 4 月 1 日

至：令和 3 年 3 月 31 日

国立大学法人鹿児島大学

令和2年度 決算報告書

国立大学法人鹿児島大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	15,333	15,695	362	(注1)
うち補正予算による追加	－	235	235	
施設整備費補助金	1,893	1,835	▲ 58	(注2)
うち補正予算による追加	－	－	－	
補助金等収入	560	1,654	1,094	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	47	47	－	
自己収入	30,558	32,378	1,819	
授業料、入学金及び検定料収入	5,519	5,475	▲ 44	(注4)
附属病院収入	24,073	25,806	1,733	(注5)
財産処分収入	－	0	0	
雑収入	966	1,096	130	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,665	3,022	357	(注7)
引当金取崩	－	24	24	(注8)
長期借入金収入	1,818	1,793	▲ 25	(注9)
前中期目標期間繰越積立金取崩	－	－	－	
目的積立金取崩	－	－	－	
計	52,875	56,449	3,574	
支出				
業務費	44,482	43,618	▲ 864	
教育研究経費	21,280	20,527	▲ 753	(注10)
診療経費	23,202	23,092	▲ 111	(注11)
施設整備費	3,758	3,676	▲ 82	(注12)
補助金等	180	1,253	1,073	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,665	2,665	0	
長期借入金償還金	1,790	1,741	▲ 49	(注14)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	－	－	－	
計	52,875	52,953	78	
収入－支出	－	3,496	3,496	

○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金については、予算段階で予定していなかった前年度からの繰越金、特殊要因運営費交付金等の追加措置により、予算額に比して決算額が362百万円多額となっております。

(注2)施設整備費補助金については、基幹・環境整備事業の計画変更等により、予算額に比して決算額が58百万円少額となっております。

(注3)補助金等収入については、予算段階では予定していなかった新型コロナウイルス感染症に伴う補助金等を獲得したため、予算額に比して決算額が1,094百万円多額となっております。

(注4)授業料、入学金及び検定料収入については、在籍者数の増による授業料収入の増収等がありましたが、大学等における修学支援のための法律に基づく授業料等の減免認定者の増等により予算額に比して決算額が44百万円少額となっております。

(注5)附属病院収入については、平均在院日数の短縮を図り、新入院患者増に伴う病床稼働率の向上に努め、入院診療単価の上昇等により、予算額に比して決算額が1,733百万円多額となっております。

(注6)雑収入については、自己収入の獲得に努め、財産貸付料収入等が増収したことにより、予算額に比して決算額が130百万円多額となっております。

(注7)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が357百万円多額となっております。

(注8)引当金取崩については、予算段階では計上していなかった退職給付引当金の取崩しにより、予算額に比して決算額が24百万円多額となっております。

(注9)長期借入金収入については、基幹・環境整備、設備整備の計画変更により、予算額に比して決算額が25百万円少額となっております。

(注10)教育研究経費については、新型コロナウイルス感染症の影響等により、予算額に比して決算額が753百万円少額となっております。

(注11)診療経費については、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ医療機器整備等を延期したこと等により診療経費が減少し、予算額に比して決算額が111百万円少額となっております。

(注12)施設整備費については、(注2)及び(注10)に示した理由により、予算額に比して決算額が82百万円少額となっております。

(注13)補助金等については、(注3)に示した理由により受入額が増額したため、予算額に比して決算額が1,073百万円多額となっております。

(注14)長期借入金償還金については、借入利率の見直し等により、予算額に比して決算額が49百万円少額となっております。